

第4章 正社員と比較した働き方 及び格差について

第4章 正社員と比較した働き方及び格差について

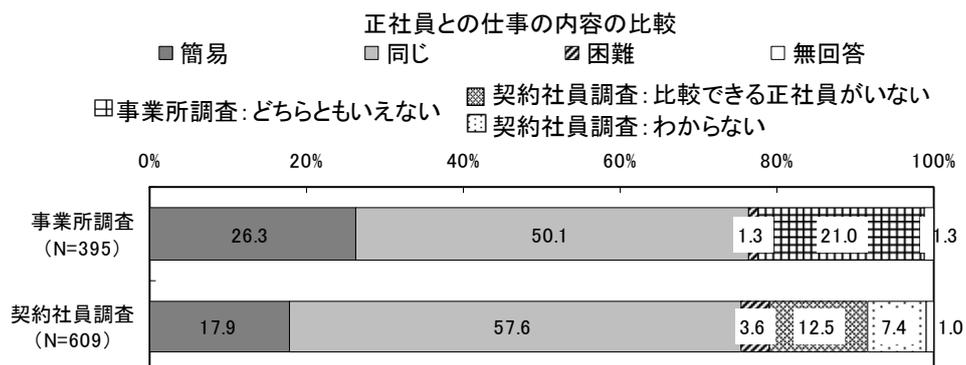
就業形態の多様化が進み、非正規労働者が増加する中で、非正規労働者の働き方や待遇について正社員との違いが今後更に大きな課題になると考えられることから、今回は契約社員と正社員との働き方及び待遇の違いや格差について調査を行った。

調査の結果、働き方に関しては、使用者側は、契約社員は正社員よりも軽易であると考えている一方で、労働者側は、変わりはないと考えており、その意識に違いがあることがわかった。また、待遇については、賃金・賞与、退職金及び雇用の安定性に不合理な格差があると考えている労働者が多くいることがわかった。

★1項は「契約社員」を雇用している事業所（有効回答事業所数 395）の回答結果である。

1 正社員との比較

1.1 仕事の内容



○事業所調査において、正社員との仕事の内容の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」が50.1%と過半数を占め、「正社員より簡易」が26.3%、「どちらともいえない」が21.0%、「正社員より困難」が1.3%となっている。

○事業所調査において、業種別に見ると、正社員との仕事の内容の比較では、ほとんどの業種において、「正社員と同じ」が最も多く、特に「情報通信業」(63.3%)、「卸売・小売業」(61.7%)で高い。

一方で、「金融・保険業」では「正社員より簡易」が44.4%で最も多くなっている。

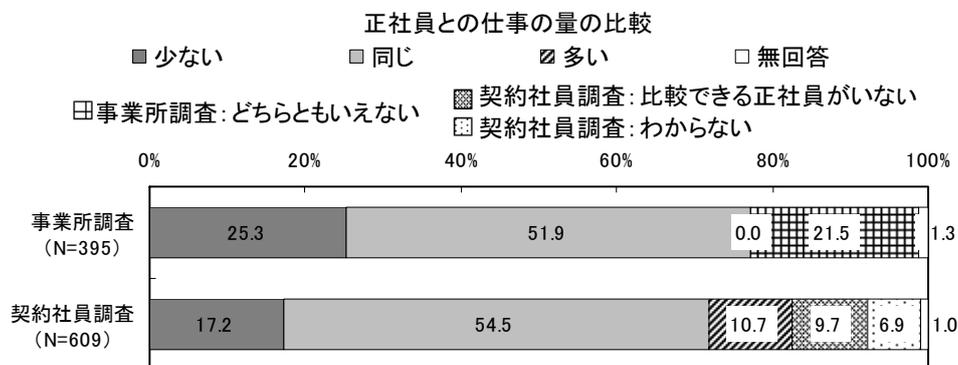
○事業所調査において、企業規模別に見ると、正社員との仕事の内容の比較では、「正社員と同じ」は企業規模が大きくなるにつれて減少する傾向が見られる。

○契約社員調査において、正社員との仕事の内容の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」が57.6%で、「正社員より困難」は3.6%となり、「正社員と同じ」と「正

社員より困難」をあわせた「同等以上」は61.2%となっている。逆に「正社員より簡易」は17.9%となっている。

- 契約社員調査において、業務内容別に見ると、正社員の仕事の内容と「同等以上」が全体平均(61.2%)より高いのは「管理的業務」(81.8%)、「サービス業務」(73.4%)、「販売業務」(63.8%)、「運輸・通信業務」(63.6%)となっている。
- 事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との仕事の内容の比較について、いずれも「正社員と同じ」が過半数を占めるが、「正社員より簡易」は事業所調査が26.3%で、契約社員調査より8.4ポイント高く、逆に、「正社員と同じ」と「正社員より困難」をあわせた「同等以上」は契約社員調査が61.2%で、事業所調査より9.8ポイント高くなっている。

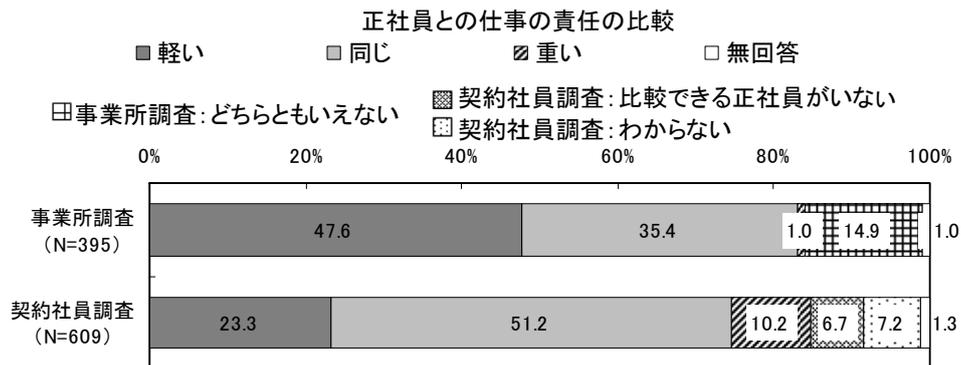
1.2 仕事の量



- 事業所調査において、正社員との仕事の量の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」が51.9%と過半数を占め、「正社員より少ない」が25.3%、「どちらともいえない」が21.5%となっている。
- 事業所調査において、業種別に見ると、正社員との仕事の量の比較では、ほとんどの業種において、「正社員と同じ」が最も多く、特に「情報通信業」(66.7%)、「卸売・小売業」(61.7%)で高い。
 一方で、「金融・保険業」では「正社員より少ない」が38.9%で最も多くなっている。
- 契約社員調査において、正社員との仕事の量の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」が54.5%で、「正社員より多い」は10.7%となり、「正社員と同じ」と「正社員より多い」をあわせた「同等以上」は65.2%となっている。逆に「正社員より少ない」は17.2%となっている。
- 契約社員調査において、業務内容別に見ると、正社員の仕事の量と「同等以上」が全体平均(65.2%)より高いのは「管理的業務」(81.8%)、「サービス業務」(76.0%)、「販売業務」(74.1%)、「運輸・通信業務」(72.7%)となっている。
- 事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との仕事の量の比較につい

て、いずれも「正社員と同じ」が過半数を占めるが、「正社員より少ない」は事業所調査が25.3%で、契約社員調査より8.1ポイント高く、逆に、「正社員と同じ」と「正社員より多い」をあわせた「同等以上」は契約社員調査が65.2%で、事業所調査より13.3ポイント高くなっている。

1.3 仕事の責任



○事業所調査において、正社員との仕事の責任の比較について聞いたところ、「正社員より軽い」が47.6%と過半数近くを占め、「正社員と同じ」が35.4%、「どちらともいえない」が14.9%、「正社員より重い」が1.0%となっている。

○事業所調査において、業種別に見ると、正社員との仕事の責任の比較では、ほとんどの業種において、「正社員より軽い」が最も多くなっている。

一方で、「情報通信業」では「正社員と同じ」が53.3%で最も多くなっている。

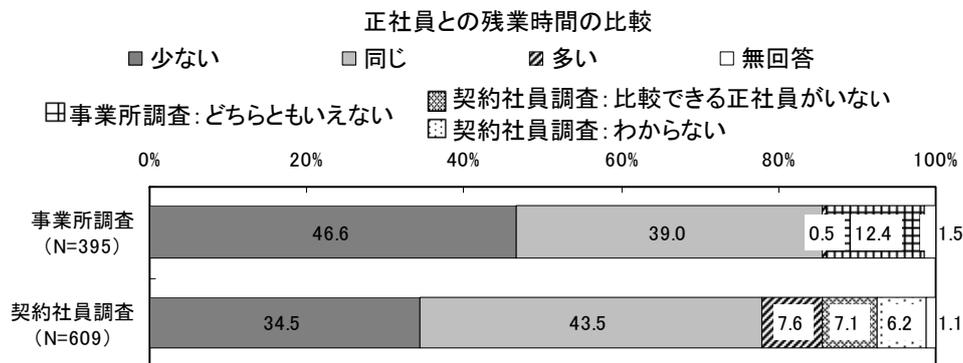
○事業所調査において、企業規模別に見ると、正社員との仕事の責任の比較では、「正社員より軽い」は企業規模が大きくなるにつれて上昇する傾向が見られる。

○契約社員調査において、正社員との仕事の責任の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」が51.2%で、「正社員より重い」は10.2%となり、「正社員と同じ」と「正社員より重い」をあわせた「同等以上」は61.4%となっている。逆に「正社員より軽い」は23.3%となっている。

○契約社員調査において、業務内容別に見ると、正社員の仕事の責任と「同等以上」が全体平均(61.4%)より高いのは「運輸・通信業務」(81.8%)、「管理的業務」(72.7%)、「専門的・技術的業務」(67.9%)、「販売業務」(65.5%)となっている。

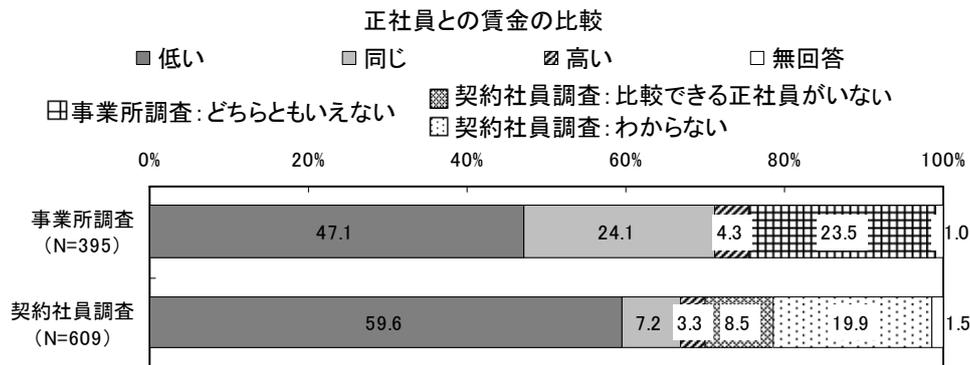
○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との仕事の責任の比較について、事業所調査では「正社員より軽い」が47.6%と最も多いが、契約社員調査では「正社員と同じ」(51.2%)が過半数を占めている。「正社員より軽い」は事業所調査が契約社員調査より24.3ポイント高く、逆に、「正社員と同じ」と「正社員より重い」をあわせた「同等以上」は契約社員調査が61.4%で、事業所調査より25.0ポイント高くなっている。

1.4 残業時間（時間外労働）



- 事業所調査において、正社員との残業時間の比較について聞いたところ、「正社員より少ない」が46.6%と過半数近くを占め、「正社員と同じ」が39.0%、「どちらともいえない」が12.4%、「正社員より多い」が0.5%となっている。
- 事業所調査において、業種別に見ると、正社員との残業時間の比較では、多くの業種において、「正社員より少ない」が最も多く、特に「教育、学習支援業」（64.5%）、「医療、福祉」（56.1%）で高くなっている。
 一方で、「運輸業」（50.0%）、「卸売・小売業」（46.7%）、「サービス業」（44.0%）では「正社員と同じ」が最も多くなっている。
- 契約社員調査において、正社員との残業時間の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」が43.5%で、「正社員より多い」は7.6%となり、「正社員と同じ」と「正社員より多い」をあわせた「同等以上」は51.1%となっている。逆に「正社員より少ない」は34.5%となっている。
- 契約社員調査において、業務内容別に見ると、正社員の残業時間と「同等以上」が全体平均（51.1%）より高いのは「生産工程・労務」（70.0%）、「販売業務」（62.1%）、「運輸・通信業務」（59.1%）などがある。
- 事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との残業時間の比較について、事業所調査では「正社員より少ない」が46.6%と最も多いが、契約社員調査では「正社員と同じ」が43.5%で最も多くなっている。「正社員より少ない」は事業所調査が、契約社員調査より12.1ポイント高く、逆に、「正社員と同じ」と「正社員より多い」をあわせた「同等以上」は契約社員調査が51.1%で、事業所調査より11.6ポイント高くなっている。

1.5 賃金（時間単価）



○事業所調査において、正社員との賃金の比較について聞いたところ、「正社員より低い」が47.1%と過半数近くを占め、「正社員と同じ」が24.1%、「どちらともいえない」が23.5%、「正社員より高い」が4.3%となっている。

○事業所調査において、業種別に見ると、正社員との賃金の比較では、ほとんどの業種において、「正社員より低い」が最も多くなっており、特に「教育、学習支援業」(58.1%)で高くなっている。

一方で、「飲食店、宿泊業」では「どちらともいえない」が57.1%で最も多くなっている。

○事業所調査において、企業規模別に見ると、正社員との賃金の比較では、「正社員と同じ」は企業規模が大きくなるにつれて減少する傾向が見られる。

○契約社員調査において、正社員との賃金の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」が7.2%で、「正社員より高い」は3.3%となり、「正社員と同じ」と「正社員より高い」をあわせた「同等以上」は10.5%となっている。逆に「正社員より低い」は59.6%となっている。

○契約社員調査において、業務内容別に見ると、正社員の賃金と「同等以上」が全体平均(10.5%)より高いのは「管理的業務」(18.2%)、「専門的・技術的業務」(17.4%)、「運輸・通信業務」(13.6%)などがある。

○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との賃金の比較について、いずれも「正社員より低い」が5割前後を占めるが、「正社員より低い」は契約社員調査が59.6%で、事業所調査より12.5ポイント高く、逆に、「正社員と同じ」と「正社員より高い」をあわせた「同等以上」は事業所調査が28.4%で、契約社員調査より17.9ポイント高くなっている。

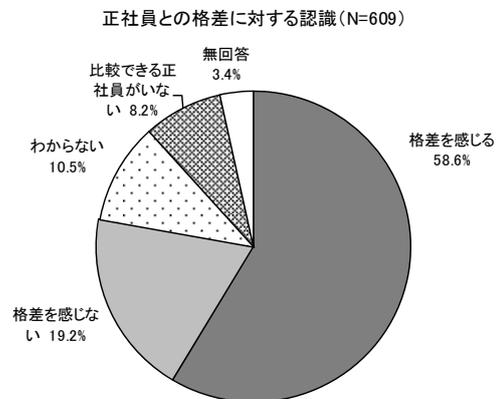
2 正社員との格差について（契約社員調査）

2.1 正社員との格差に対する認識

○正社員との格差に対する認識については、「格差を感じる」が58.6%と過半数を占め、「格差を感じない」が19.2%、「わからない」が10.5%、「比較できる正社員がいない」が8.2%となっている。

○男女別に見ると、正社員との格差に対する認識について、「格差を感じる」と回答した割合は女性が63.0%、男性が50.0%で女性が13.0ポイント高くなっている。

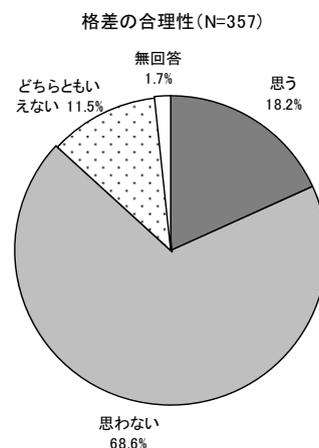
○業務内容別に見ると、正社員との格差に対する認識について、「格差を感じる」と回答した割合が全体平均（58.6%）より高いのは「運輸・通信業務」（68.2%）、「事務的業務」（67.7%）、「生産工程・労務」（67.5%）となっている。



2.2 格差の合理性

○正社員との格差に対して、「格差を感じる」と回答した人に、格差は合理的かを聞いたところ、「合理的だと思わない」が68.6%を占め、「合理的だと思う」が18.2%で、「どちらともいえない」が11.5%となっている。

○業務内容別に見ると、いずれの業務内容においても「合理的だと思わない」の割合が最も多く、特に「運輸・通信業務」で93.3%と高くなっている。

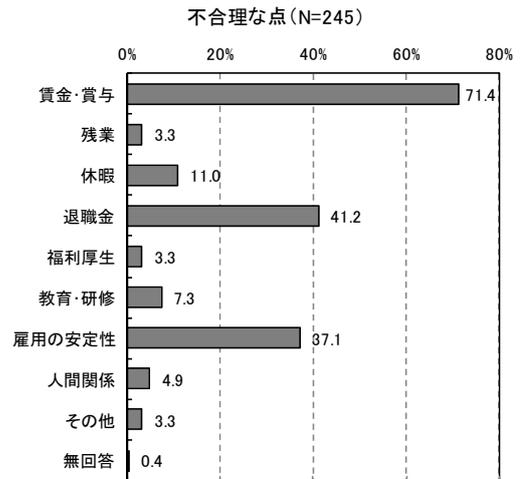


2.3 格差の不合理な点（2つまで回答可）

○正社員との格差が合理的だと思わないと回答した人に、格差の不合理な点を聞いたところ、「賃金・給与」が71.4%で最も多く、以下、「退職金」（41.2%）、「雇用の安定性」（37.1%）、「休暇」（11.0%）と続いている。

○男女別に見ると、格差の不合理な点は男女ともに「賃金・給与」が7割以上を占め最も多くなっている。また、「雇用の安定性」については、女性が40.7%、男性が27.9%で、女性が12.8ポイント高くなっている。

○格差の不合理な点を業務内容ごとに第3順位まであげると以下のとおりである。



業務内容別の正社員に対する格差が不合理な点

	第1順位	第2順位	第3順位
専門的・技術的業務	賃金・給与(69.6%)	雇用の安定性(42.9%)	退職金(32.1%)
管理的業務	賃金・給与(100.0%)	退職金(50.0%)	-
事務的業務	賃金・給与(66.4%)	雇用の安定性(44.5%)	退職金(43.6%)
販売業務	賃金・給与(76.5%)	休暇/退職金(35.3%)	雇用の安定性(23.5%)
サービス業務	賃金・給与(84.0%)	退職金(44.0%)	雇用の安定性(24.0%)
運輸・通信業務	賃金・給与(78.6%)	退職金(50.0%)	休暇/雇用の安定性(14.3%)
生産工程・労務	賃金・給与(70.6%)	退職金(52.9%)	雇用の安定性(29.4%)